第５１号
令和４年７月２０日

団長統率方針
任務の完遂
団長要望事項
創意と情熱
心技体の充実

駐屯地司令要望事項
作戦基盤の確立
環境の改善
地域との連携

web site

第18期一般陸曹候補生・自衛官候補生修了式

自信をつけ希望を胸に～後期教育部隊へ～

中部方面混成団長（団長 青井 常治１等陸佐）は、令和４年６月26日（日）松山駐屯地を皮切りに、６月28日(火)豊川駐屯地、６月29日(水)大津駐屯地において、第18期一般陸曹候補生約８００名（男子約７５０名、女子約50名）、自衛官候補生約１８０名に対する修了式を隊員家族及び部内外来賓を迎え各地で実施しました。

青葉が色鮮やかに茂り、入隊した頃よりも凛々しい顔つきで御家族が見守る中、式典を挙行いたしました。

立会官として参列した混成団長は、「諸官一人一人が所望の練度に達し、また、射撃検定や体力検定においても格段にレベルアップしたことを踏まえ、入隊式で要望したように全員が『心技体の充実』を図り、３カ月間の教育目標を達成したものと認める。自信をもって、次のステップに進んでもらいたい。

来月以降は、新たな配属部隊における同期や部隊としての団結の強化、また、各職種に必要な専門技術の習得並びに各職種部隊に求められる体力の向上により、『更なる心技体の充実』に努めてもらいたい。

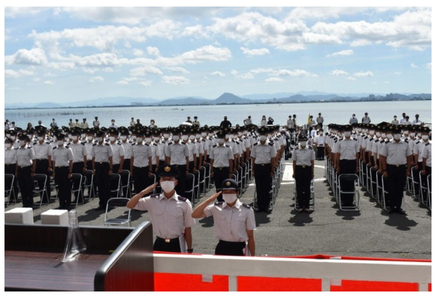
次に、『自衛官としての目標の確立』について要望する。今後は、各職種等のスペシャリストとして、それぞれの部隊の戦力となることが求められる。このため、今後どのような自衛官を目指すかを考え、あるいは自分の目標となるような尊敬できる先輩を見つけて自衛官としての目標を確立し、新たな教育訓練に臨んでもらいたい。

将来、自衛隊が日本を防衛し、国民を守れるかどうかは諸官の成長にかかっており、今後の諸官の健闘・活躍に大いに期待する。」と訓示しました。

修了行進では、前期教育で得た自信と後期教育に向けての希望を胸に、堂々と行進する新入隊員の姿が見られました。

団長訓示（大津）

修了申告（松山）


修了申告（大津）

表彰状授与（松山）

修了行進（大津）

修了行進（松山）

修了申告（豊川）

表彰状授与（豊川）

新たな門出に幸あれ

～第４９普通科連隊長・各教育大隊長式辞～

第１１０教育大隊長
２等陸佐　土橋　晃輔

思えば３カ月前の着隊当初は右も左もわからず仲間と打ち解けられるのか、訓練について行けるのか、時間がなく覚えることが一杯と苦労したことが山ほどあったと思います。訓練が始まった後も度重なる新型コロナウイルス感染症による行動制限が続くなか、厳しい体力トレーニングを重ね射撃訓練や戦闘訓練によって陸上自衛官の基礎、組織の一員として現場で命令を着実に実行するために必要な要素や生き残るすべを教わったと思います。また、使命・徳操教育により自衛官のみならず一社会人としての規律や家族への感謝、困ったときの同期との助け合いなど、社会生活において必要な要素も同時に教わってきました。更に、困難な状況の中で自ら解決手段を考え実行する方法も身に付いたと思います。

諸官らは、自衛官として最低限必要な頭・心・体の準備は整ったと思います。後期部隊に進み教育を重ねることにより家族や仲間、国民の期待に応えられる真の自衛官に育っていくことでしょう。すでに諸官らは、守られる側から守る側に立場は変わっています。我々が汗を流すことで国民の流す涙が止まる。我々が一生懸命務めることで国民の未来から悲しみを取り除くことができることを肝に銘じ、今後も努力精進してもらいたい。

第１０９教育大隊長
２等陸佐　有馬　靖

新入隊員の諸官
修了おめでとう。

この春に着隊して以来、各教育隊長をはじめ区隊長・区隊付・班長・班付の指導のもと全員が力を合わせ、３カ月にわたる厳しい教育訓練を通じて自衛官として必要な基礎的な知識や技能を学ぶとともに、体力・気力や自律心・協調性・規律心などの資質を向上し、本日晴れて修了式を迎えることができました。

入隊式の際、「積極的に取り組み自己を高めよ。」「相互に信頼し、信頼を得るよう努力せよ。」の二点を要望しましたが、各種教育訓練及び営内生活に常に前向きに取り組み、自衛官として実力を涵養し、同期と切磋琢磨し、励まし合いながら相互に信頼して助け合い、教育目標を達成することができました。

君達は、これから職種毎専門の特技教育を受け部隊に配置されることとなりますが、ここ大津の地で培った自衛官としての基礎に更に磨きをかけ、国民の負託に応え得る自衛官として部隊において大いに活躍してくれること、そして、実際に任務に従事する事になった時は、いかなる困難な状況であろうとも自らの使命を自覚して任務を完遂してくれることを期待しています。

第４９普通科連隊長
１等陸佐　後藤　義之

３カ月の教育を終え修了式を迎えた諸官おめでとう。

君たちは、この３カ月の教育で自衛官として必要となる基礎的な知識・技能、体力・精神力を身に付けるとともに、営内における団体生活を通じ他人への思いやり自己犠牲・規律心など、部隊の本質を理解して、基盤を学んだ。

諸官は、本教育修了をもって各々の部隊に配属され後期教育を経ていよいよ自衛官として部隊の若き戦力となり自ら選んだ道を歩んで行かなければならない。これからの道も多くの困難に直面するであろう。ここでの仲間は一生の仲間であり、苦しい時は支えあい成長を継続してほしい。「仕事は楽しく」、楽しむためには力が必要であり、任務完遂のための実力を身に付けるため練磨を継続してほしい。

諸官は、国家・国民の宝であり、我が第４９普通科連隊の誇りでもある。今後は、同志として共に国防の任務にあたろう。

教育を終えて ～それぞれの想い～

大津駐屯地
第109教育大隊 第314中隊
２等陸士
妹尾　茉奈

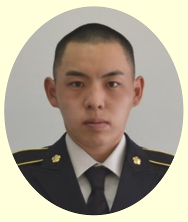
「同期と一緒に頑張りました。」

入隊してからの約３カ月で学んだことは、数えきれないほどあります。

自衛隊の基本はもちろん、人としてどうあるべきか、自分自身についても考える場面が多くありました。

厳しい訓練もありましたが、同期のおかげで乗り越えることができました。

ここで指導して頂いたことや、学んだことを今後に活かし、更なる高みを目指して頑張ります。



大津駐屯地
第109教育大隊 第316中隊
２等陸士
石田　成

「不安なことがたくさんありました。」

入隊した直後は、同期と仲良く出来るか、訓練についていけるのか、と不安なことがたくさんありました。

でも、日が経つにつれてみんなとの絆が深まり、辛いときには声を掛け合ったり助け合いながら乗り越えていけました。

この前期教育で学んだ経験を今後の自衛隊生活に活かし、自分の高みを突破することを目指して後期教育でも頑張りたいと思います。

豊川駐屯地
第109教育大隊 第315中隊
２等陸士
山田　聖

「後期教育も精一杯頑張っていきたい。」

私は、この約３カ月間の教育で多くのことを学びました。

特に、印象に残っているのは、基本教練です。

節度ある動作を行う事は難しく苦労しましたが、班長方の御指導のおかげで練度を向上させることができました。

前期教育での経験を後期教育でも活かせるよう、精一杯頑張ります。

松山駐屯地
第110教育大隊 第317中隊
２等陸士
小野寺　瑛司

「立派な自衛官になります。」

入隊してこれまでの生活とは違い慣れない日々の連続でした。服の畳み方から訓練など覚えることが多くて大変でしたが、バディーや班員と協力して克服してきました。訓練でも同期と力を合わせ目標を達成することができ、色々なことを共に乗り越えてきた皆は最高の仲間です。

また、教育中の一番の思い出は中隊対抗の持続走競技会です。班や区隊の垣根を越えて中隊が一丸となり優勝を目指して頑張ったことは一生の思い出です。

約３カ月という短い期間でしたが、とても内容の濃い充実した教育でした。

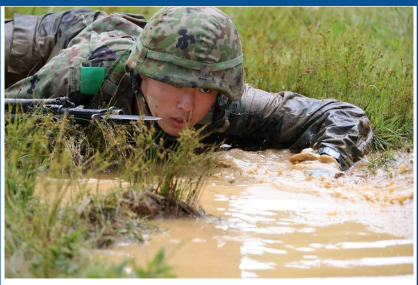
松山で学んだことを生かし、立派な自衛官になります。

新入隊員教育訓練風景

総合訓練

25km行進訓練

戦闘訓練



入校予定者の皆さんへ

第4陸曹教育隊　最先任上級曹長

准陸尉　黒島　隆弘

私は、複数の部隊での勤務、それにともなう様々な職務及び教育入校等により多くの事を経験し、学ばせてさせて頂きました。

数多くの失敗や悔いが残っていることもあります。

特に、失敗については、「失敗なくして成長なし。」や「失敗しなかった１日は何もしなかった１日」という言葉があります。私はこの言葉について失敗を恐れず挑戦し、その結果、失敗をしても反省をして改善すること、この繰返しで少しずつ前に進んでいくのだと解釈しています。失敗して後悔しているだけでは前に進むことはできません。「反省は未来を変える行動で後悔は過去を変えようとする行動だ。」という言葉があるように、まずは失敗を恐れず勇気を出して一歩踏み出し、失敗・反省・改善を繰り返して少しずつ前に進んで行くことが大切だと思います。

まずは失敗を恐れず勇気を出して一歩踏み出し、失敗をすればそれを反省・改善し、日々少しずつでも成長し続けてほしいと思っています。

陸曹候補生課程　卒業式

生徒陸曹候補生課程　卒業式

初級陸曹特技課程　卒業式

第4陸曹教育隊 各課程教育修了

第４陸曹教育隊（隊長　木場　元大１等陸佐）は、令和４年４月から開始した各課程教育を修了しました。

４月12日から開始した第２０３期陸曹上級課程約90名、５月30日から開始した第２０４期陸曹上級課程約90名、４月４日から開始した第１４０期初級陸曹特技課程約１３０名と第１４１期（１次）陸曹候補生課程約50名、４月１日に開始した第65期生徒陸曹候補生課程約50名、４月11日に開始した第78期陸曹基礎英語課程４名の合計約４２０名の入校者が、それぞれの教育を履修し、任務を完遂し得る戦闘員として必要な資質を養うとともに、当該職務遂行の基礎となる知識及び技能を修得し、部隊の原動力となる陸曹となり原隊において活躍中です。